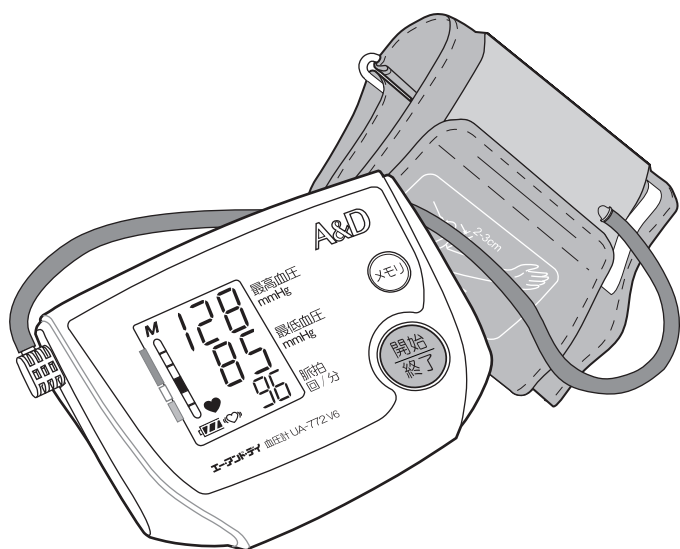


取扱説明書

もくじ

エー・アンド・デイ デジタル血圧計
UA-772 V6



- ・この度はお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
- ・お使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ・この取扱説明書は大切に保管してください。
- ・裏表紙が保証書になっていますので、紛失にご注意ください。

ご使用のまえに

- ・安全にお使いいただくために …… 2
- ・血圧測定のまえに …… 4
- ・各部のなまえと表示 …… 6

ページ

ご使用方法

- ・乾電池の入れ方 …… 9
- ・カフの巻き方 …… 10
- ・血圧の測定 …… 11
- ・バー表示機能（圧力・血圧）について …… 13
- ・メモリ機能の使い方 …… 14
- ・お手入れと保管の注意 …… 15
- ・ACアダプタをご使用の方へ …… 16

ページ

血圧豆知識

- ・血圧とは …… 18
- ・血圧が高いときの症状とは？ …… 18
- ・高血圧について …… 18
- ・ご家庭での血圧測定について …… 19
- ・IHB（不規則脈波）マークとは …… 19

ページ

修理／保証など

- ・修理、サービスを依頼する前に …… 21
- ・仕様 …… 23
- ・保証規定 …… 27
- ・保証書 …… 28

ページ

安全にお使いいただくために <必ずお守りください>

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。お買い上げいただいた血圧計を安全に正しくお使いいただくためによくお読みください。

表示と図記号の意味は次のようになっています。



注意

この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の意味



発火注意



感電注意

この図記号は注意（警告・危険を含む）を示します。



禁止



分解禁止

この図記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。



この図記号は守っていただきたいこと（強制）を示します。

⚠ 注意



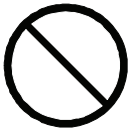
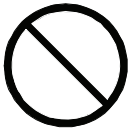
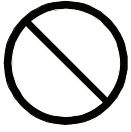
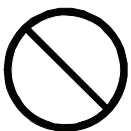

測定結果の自己判断、治療は危険です。医師の指導に従ってください。

薬剤の服用は医師の指示に従ってください。



分解や修理・改造を行わないでください。故障や事故の原因となります。

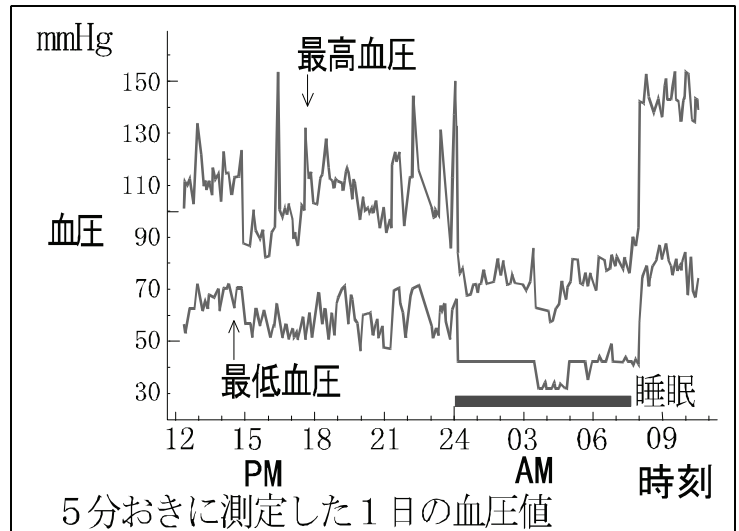
⚠ 注意

	強い静電気や電磁波に近づけないでください。故障の原因となったり、誤動作の恐れがあります。
	衝撃を加えたり、落下させないでください。故障の原因となります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところにおかないでください。けがや事故の原因となります。
	血圧測定以外の目的で使用しないでください。故障や事故の原因となります。
	本機の近くで、携帯電話を使用しないでください。誤動作する恐れがあります。

血圧測定の前

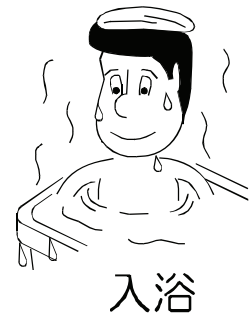
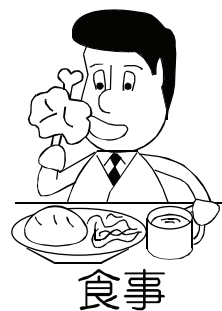
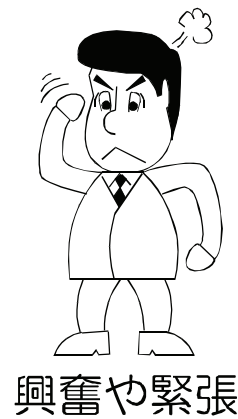
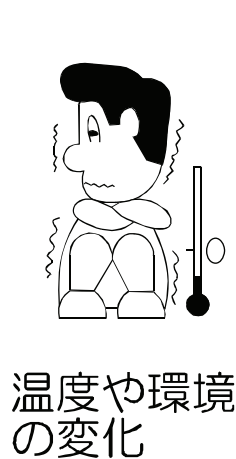
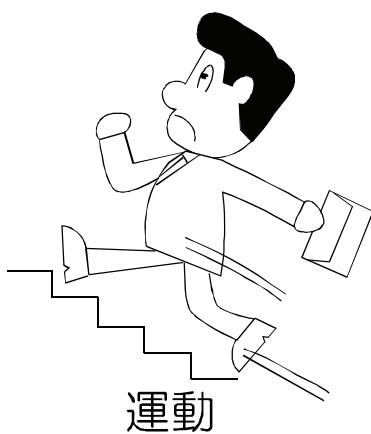
1. 血圧は絶えず変動しています。

血圧は心臓の動きに合わせて一拍ごとに変動する大変デリケートなものです。1日のうちご自分では気付かぬうちに、いろいろな状況に応じて30～50 mmHgの変動をすることがあります。



測定のたびに一喜一憂せず、毎日同じ時間・正しい姿勢で血圧を測定して記録し、ご自分の平常値と血圧傾向(血圧値の動き)を知ることが大切です。また、これらの血圧情報は医師の診断時に大変役に立ちます。血圧値の判断は医師にご相談ください。

2. 血圧を変動させる主な要因



3. 病院と家庭で測定した値が違う場合があります。

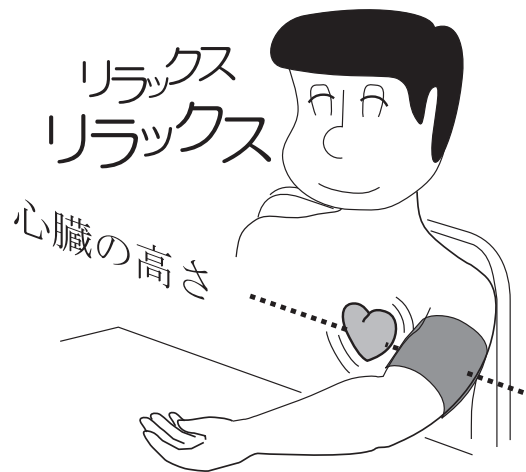
医師や看護師に血圧を測ってもらおうと、一時的に緊張して家庭で測るよりも20～30mmHg高くなる場合があります。

自宅でのご自分の平常値を知ることが大切です。

4. 血圧は正しい姿勢で測定してください。

正しい血圧を測定するために次のことを心掛けてください。

- ・背すじを伸ばして姿勢よく座ってください。
- ・カフの高さが心臓の高さと同じになるようにしてください。
- ・リラックスして安静にしてください。
- ・身体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。
- ・運動や入浴後は数十分してから測定してください。



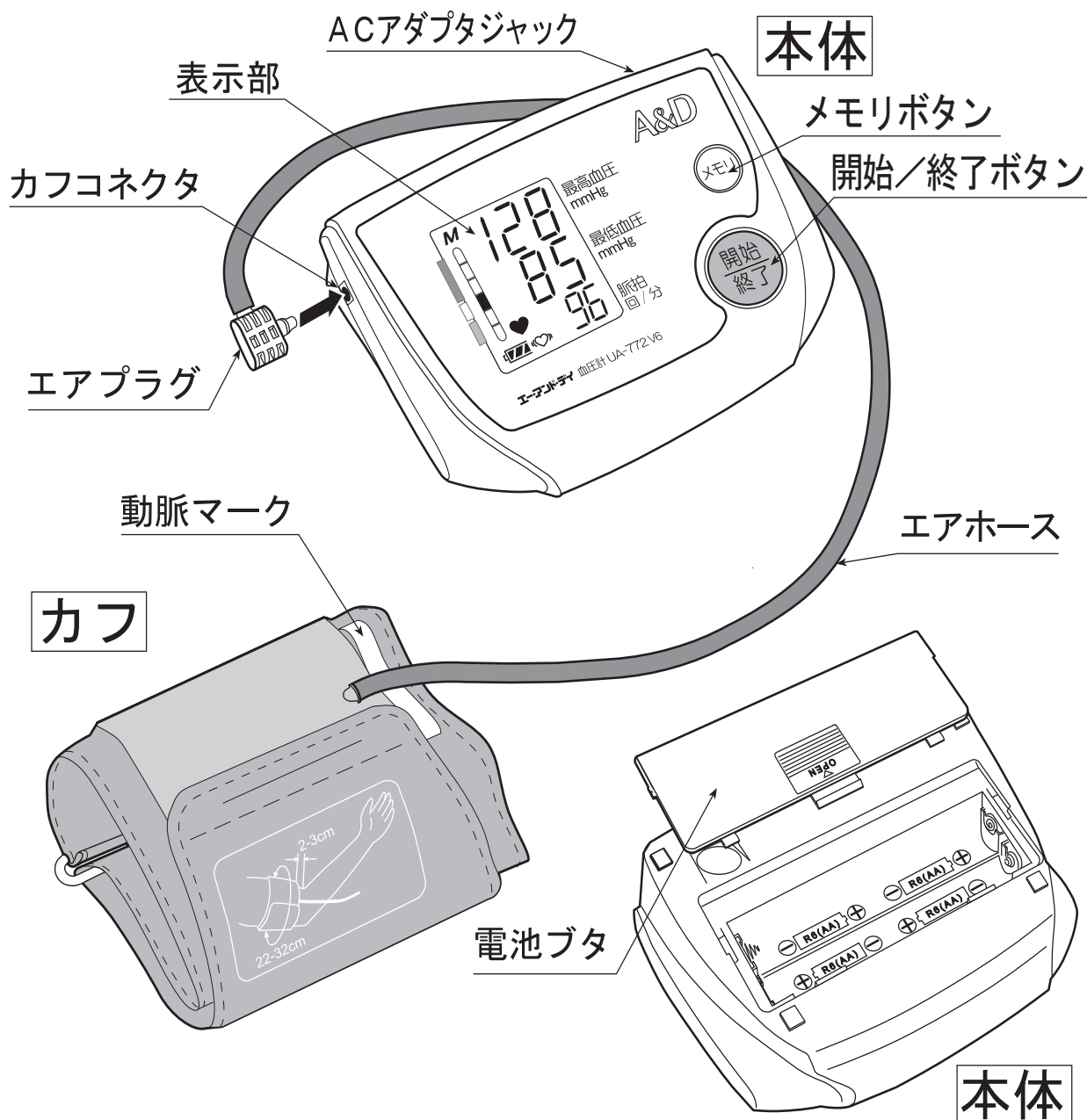
⚠️注意



長時間の繰り返し測定はしないでください。
何度も繰り返して測定すると腕がうっ血して正しい測定ができない場合があります。

各部のなまえと表示

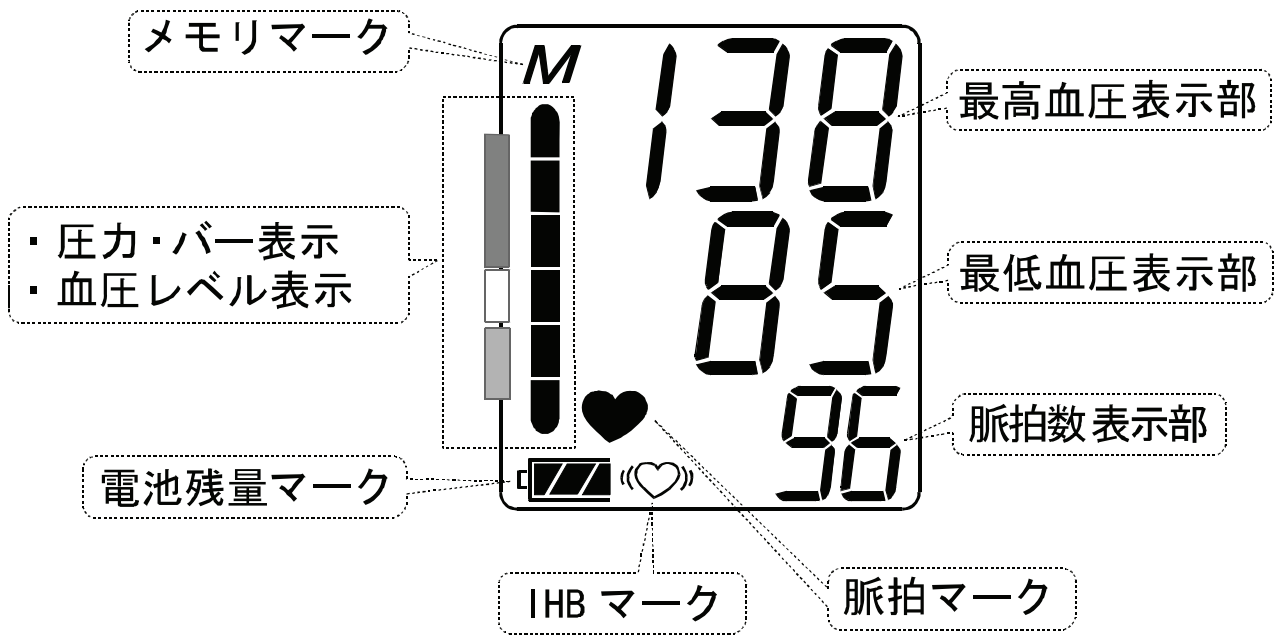
ご使用のまえに



付属品






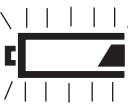


表示部



1) 使用のまえに

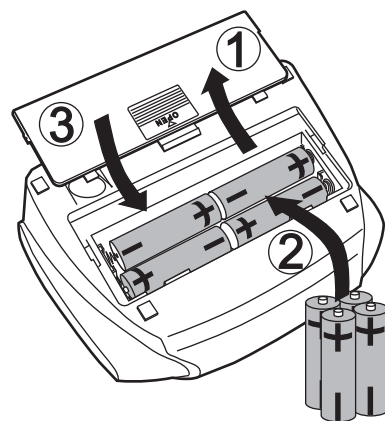
表示マーク

マーク	表示の条件	対処の仕方
	測定中、脈を検出するとマークが点滅します。	測定中です。 静かにしてください。
M	メモリ表示のときに点灯します。	14ページの説明をお読みください。
	IHBマーク（※1） 測定中の平均脈間隔から25%以上差のある脈を検出すると、表示します。 血圧測定中に腕や血圧計を動かした場合に表示します。	時間をおいてもう一度測定してください。
	電池の残量を表示します。	—————
	 電池は十分残っています。	そのままお使いください。
	 電池が残り少なくなっています。	
	表示が点滅する場合は、電池が消耗しています。	乾電池を4個同時に新しいものと交換してください。

※1 IHB（Irregular heart beat：不規則脈波）マーク... 19, 20ページ参照。

乾電池の入れ方

1. 電池ブタを矢印の方向にスライドさせて外してください。
2. 新しい単3形乾電池4個を \oplus \ominus の表示に合わせて入れてください。
3. 電池ブタを矢印の方向にスライドさせて閉めてください。



乾電池使用上の注意

乾電池の \oplus \ominus を逆に入れると測定できません。

マンガン乾電池で約300回(室温23℃、180mmHg加圧の場合)測定できます。

また、電池寿命は周囲の温度により異なります。冬場などの低温時は電池寿命が短くなります。

表示部の \blacksquare マークが点滅した場合、4個同時に新しい単3形乾電池と交換してください。

古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用すると、電池寿命が短くなったり、故障や液もれの原因となります。

乾電池が完全に消耗すると \blacksquare マークは表示されません。

乾電池を交換する場合は30秒以内で行ってください。

30秒以上時間が経過すると、メモリした前回値が消去されます。

長期間(約1ヶ月)使用しない場合は、乾電池を取り出してください。

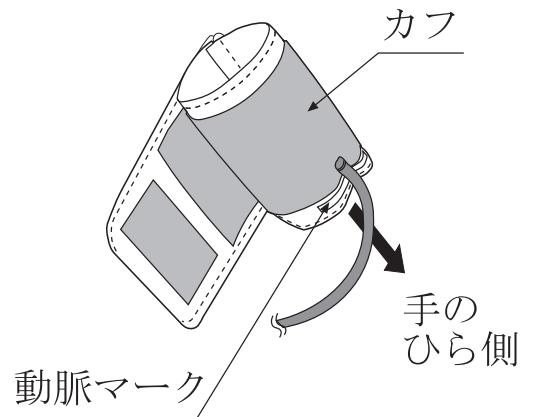
乾電池を入れたまま長期間放置すると、乾電池の液もれが起こり故障の原因となります。

乾電池の液もれによる故障は、保証期間内でも有償修理となります。

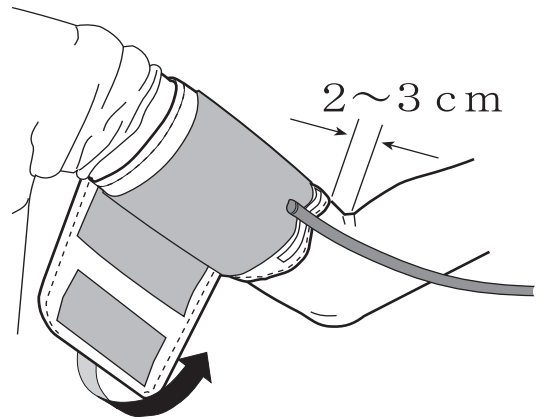
使用済みの乾電池は、お住まいの地域の廃棄方法に従って廃棄してください。

カフの巻き方

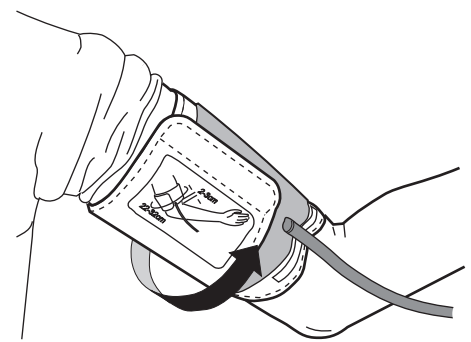
1. カフを右図のように筒状に広げ、動脈マークが手のひら側にくるようにカフの向きを合わせます。血圧をより正しく測定するために、着衣の袖をまくり上げ素肌に直接巻いてください。厚手の着衣は脱いでからカフを巻いてください。



2. ひじ関節をまげた時にできるすじから2～3cm上に巻いてください。また、動脈マークの中心が小指の延長線上にくるようにしてください。

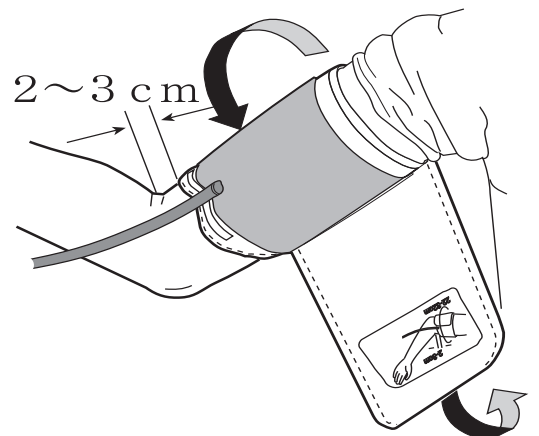


3. カフと腕の間に指が1～2本入るすき間ができるように、カフの端を引きながら巻き付けてください。



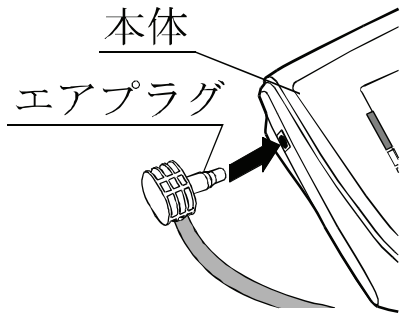
左腕に装着できない場合

右腕でも測定できます。同じ手順で右腕にカフを巻いてください。



血圧の測定

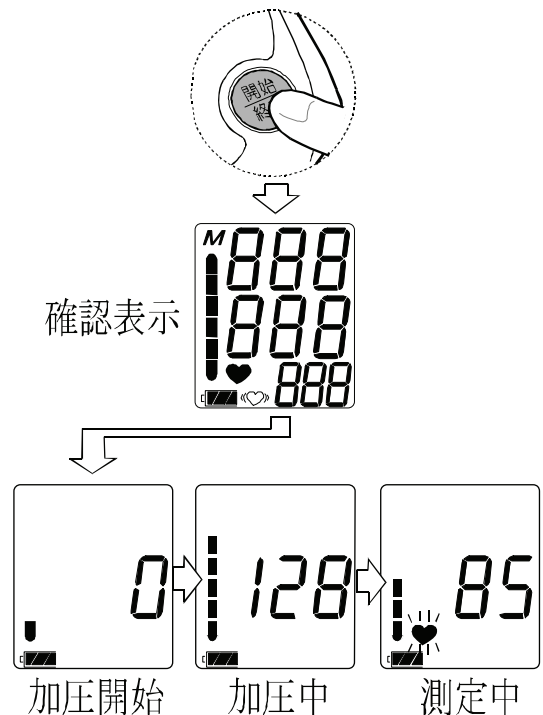
1. カフのエアプラグを本体にしっかり差し込んでください。



2. 正しい姿勢で座り腕をテーブルの上に乗せ、手のひらを上にしてか
るく開きます。このとき、カフの
中心が心臓の高さになるようにひ
じの高さを調節してください。
高さ調節にはイスやテーブルの
高さを調節したり、ひじの下に
クッションを入れたりしてくださ
い。



3. リラックスして、[開始 / 終了]
ボタンを一度押してください。
電源が入り、自動的に加圧を開
始し、測定を行います。
測定中に加圧の不足を検出する
と、最高 2 回まで自動的に再加圧
を行います。



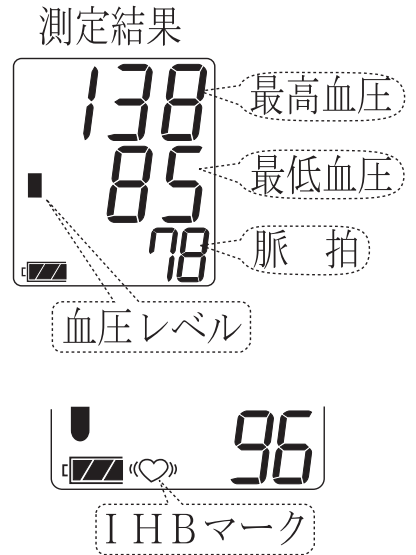
4. 測定値表示

測定が終了すると測定結果と血圧レベル (2) を表示し、自動的にカフに残っている空気を排気します。

測定中に不規則な脈が含まれていた場合 IHBマーク (3) を表示します。

2 血圧レベル ... 13 ページ参照

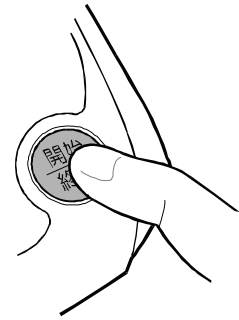
3 IHBマーク ... 19 ページ参照



測定を中止したい場合

測定を途中で中止したい場合、いつでも [開始 / 終了] ボタンを押すと測定を中止することができます。

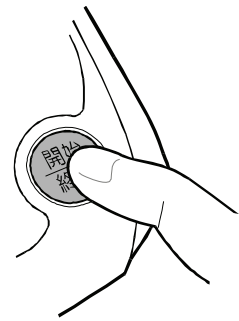
測定を中止すると、電源が切れ、加圧は止まり、急速に排気が行われます。



5. 測定終了

測定結果を確認したら、[開始 / 終了] ボタンを押して電源を切ってください。

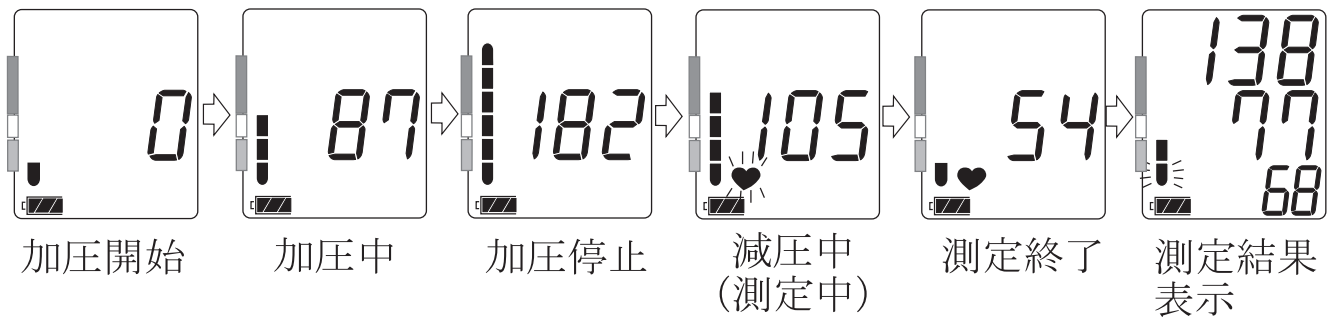
本機は電源を切り忘れた場合でも約 1 分で自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能を備えています。



バー表示機能（圧力・血圧）について

1. カフ内の加圧状態が一目でわかる圧力・バー表示

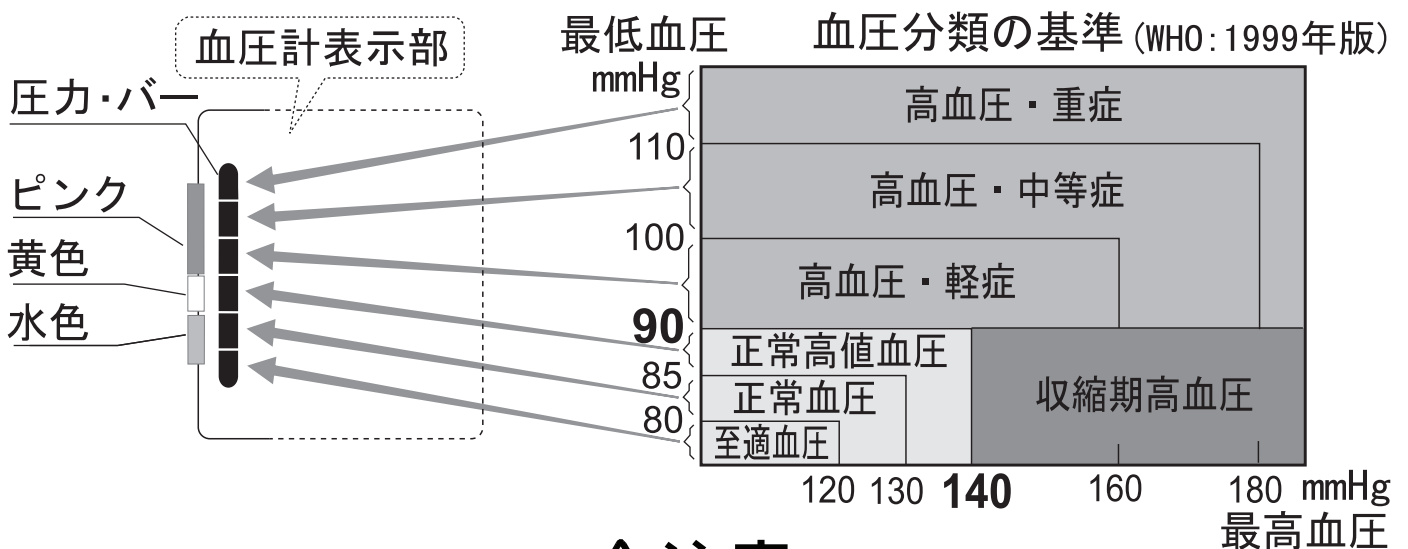
加圧開始と同時に圧力・バーが下から順番に伸びていきます。圧力・バーが全点灯すると加圧は止まり、減圧するにしたがって圧力・バーは下がっていきます。



2. 血圧レベル表示（WHO血圧分類表示）

血圧分類の基準は、世界保健機関（WHO）と国際高血圧学会（ISH）が制定しています。

測定が終了すると、今回の測定値がWHO分類でどの領域に位置するのか、圧力・バーが点灯することでお知らせします。



⚠️ 注意



測定結果の自己判断、治療は危険です。医師の指導に従ってください。薬剤の服用は医師の指示に従ってください。

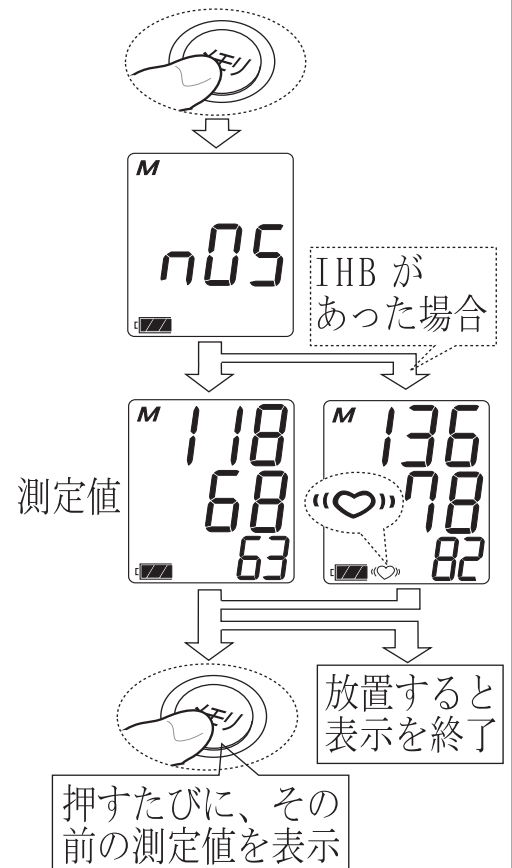
メモリ機能の使い方

本機は測定値を自動的に記憶し（30回分）、その値を表示する機能をもっています。

測定が30回を越えると一番古い測定値から自動的に消去され、新しい測定値を記憶します。

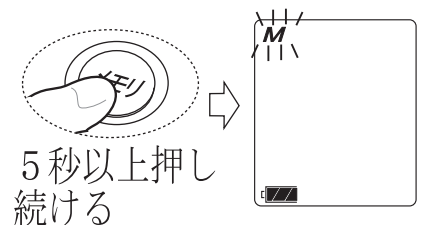
[メモリ]ボタンを1回押してください。右図(例)のように、もっとも新しい測定番号を表示し(約5秒)、次に測定値を表示(約5秒)します。

- ・ 測定番号または血圧値表示の間に[メモリ]ボタンを押すと、その前に記憶した測定値を表示します。
- ・ 表示の間に[メモリ]ボタンが押されない場合、メモリ表示を終了します。



メモリをすべて消去したい場合

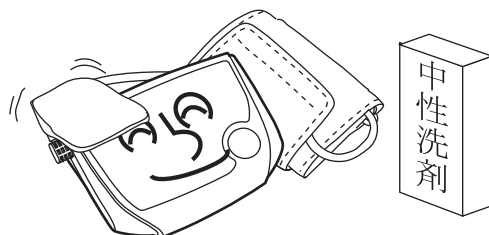
5秒以上連続して[メモリ]ボタンを押し続けると“M”マークが点滅してメモリをすべて消去します。



お手入れと保管の注意

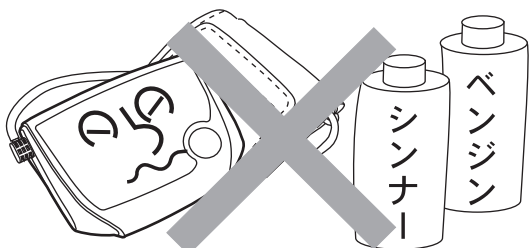
お手入れ

血圧計が汚れたときは、水や中性洗剤をしみこませた布で拭いてください。汚れを拭き取った後は、乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。



お手入れの注意

お手入れには、ベンジン・シンナー等を使用しないでください。故障の原因となります。

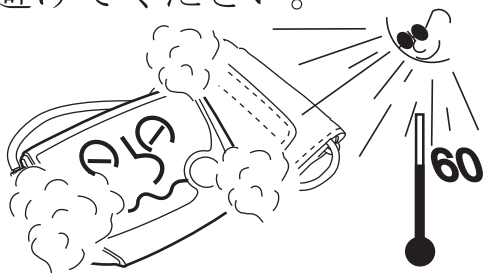


カフは洗濯したり、ぬらしたりしないでください。カフが破損します。

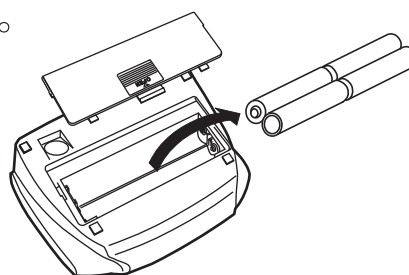


保管の注意

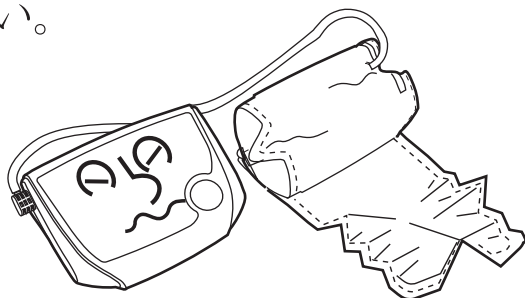
高温・高湿・直射日光は避けてください。また、ホコリの多いところも避けてください。



長期間（約1ヶ月）使用しない場合は、乾電池を取り出してください。



カフを無理に折り曲げないでください。









ACアダプタをご使用の方へ

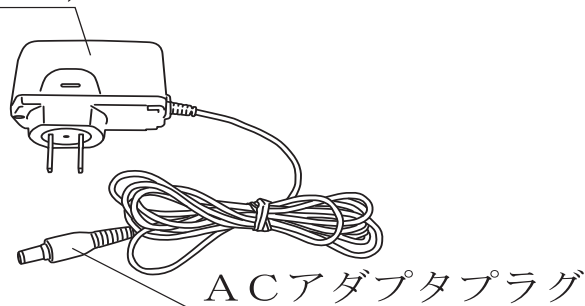
専用のACアダプタを使用すると乾電池なしで血圧を測定することができます。

次のことに注意してご使用ください。

⚠ 注意

	<p>専用ACアダプタ以外は使用しないでください。火災や感電の原因となります。</p>		<p>AC100V以外の電源では使用しないでください。コンセントは単独で使用してください。火災のおそれや、正しい測定ができなくなります。</p>
	<p>濡れた手で、ACアダプタをコンセントから抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。</p>		<p>ACアダプタのコードを束にしないでください。また、コードの上に物を置かないでください。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>長時間使用しない場合、必ずコンセントからACアダプタを抜いてください。火災や感電の原因となります。</p>		<p>ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタ本体を持って抜いてください。アダプタプラグを血圧計から抜くときは、プラグを持って抜いてください。感電や故障の原因となります。</p>

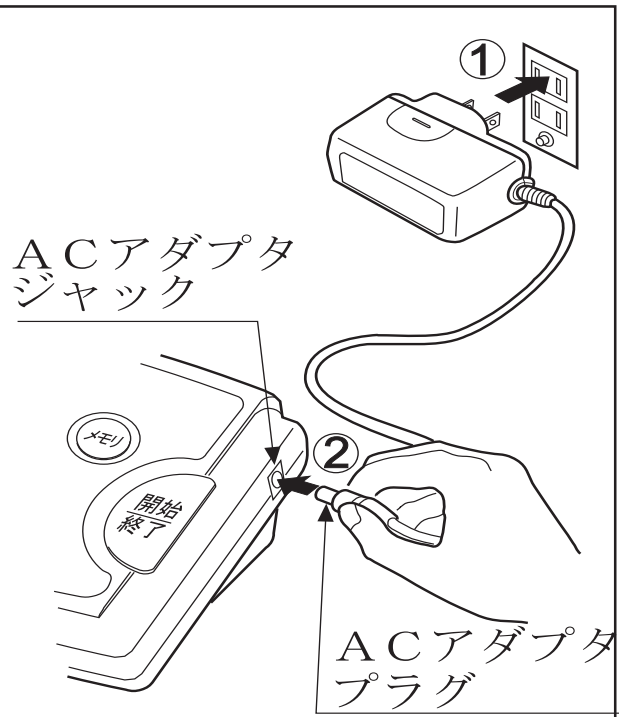
ACアダプタ
(TB-233)



ACアダプタの使い方

1. ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。

2. ACアダプタプラグをACアダプタジャックに差し込んでください。

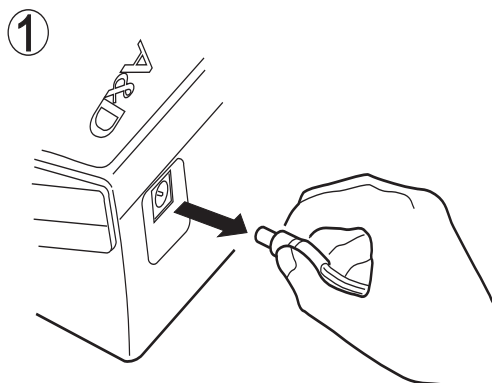


ACアダプタ使用上の注意

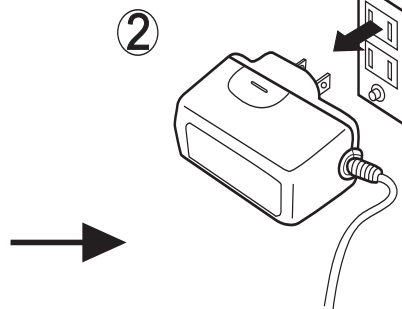
ACアダプタのみで使用している場合、ACアダプタをコンセントから抜くと、メモリした前回値が消去（リセット）されます。ACアダプタと乾電池の併用をおすすめします。

乾電池と併用されている場合でも、電源の入っていないACアダプタプラグがACアダプタジャックに差し込まれているとメモリした前回値が消去（リセット）されます。あらかじめACアダプタプラグを血圧計本体から抜き取ってからACアダプタを電源コンセントから抜いてください。

ACアダプタを電源コンセントから抜く場合：



ACアダプタプラグを
血圧計本体から抜く



電源コンセントから
ACアダプタを抜く

血圧とは

血液は、心臓のポンプ作用によって左心室から動脈内に送りだされ、大動脈 - 細動脈 - 毛細血管を循環して静脈血となって右心房に戻ってきます。一般的に、血圧といっているのは、動脈内を流れる血液のもつ機械的な圧力で、心臓が収縮してその圧力によって血液が送り出されたとき血圧が最も高く最高血圧となり、逆に心臓が拡張して大静脈から血液が返ってきたときの血圧が最も低く最低血圧となります。通常血圧測定は上腕を測定部位として行われます。

血圧が高いときの症状とは？

初期の高血圧症では、頭痛・肩こり・めまい・耳なり・動悸・息切れなどが起こりがちです。また、しびれや眼底出血が現れることもあります。頭痛は、とくに起床時に、強い後頭部の頭重感があります。ときには、吐き気を伴います。なお、こうした症状は血圧の急激な上昇によって現れることが多いのですが、血圧が高い状態が続くとかえって、自覚症状があまりなくなってしまうます。高血圧気味の方は、症状が出ないからといって油断なさらず、定期的に血圧を測るなどして、健康管理には充分気をつけましょう。

高血圧について

なぜ高血圧になるのか実のところよく分かっていません。高血圧は本態性高血圧と2次性高血圧と2つの種類に分けられ95%以上が本態性高血圧です。2次性高血圧症は、血圧が高くなる病気によって起こる高血圧症です。腎炎や妊娠中毒、内分泌異常などの影響によります。この場合は、原因となっている病気を治せば血圧も自然に下がります。一方、本態性高血圧症は、原因がはっきりせず、血圧だけが低い状態のことをいいます。長期にわたるストレスや、塩分の取りすぎ、肥満や遺伝的体質が重なり合って現れるようです。中でも遺伝の影響は大きく、両親が高血圧の場合は約60%、片親が高血圧の場合は

約30%の確率で子供に高血圧の体質が遺伝するようです。血縁関係者に心当たりのある方は、ご注意ください。

ご家庭での血圧測定について

血圧はたいへん微妙なもので、1日のうちでも朝は低く、午後から高くなるというように、始終変動しています。また、寒い時期は、体温の発散を防ぐために、血管が収縮して、血圧が上昇しやすく、夏期は逆に、血圧が低くなる傾向があるようです。

こうした外的要因のほかに、ストレスや感情の起伏といった精神的なものが原因で大きく変化することがあります。つまり、測る時の状況次第で測定値に大きな差が出てしまうわけです。また、医師や看護師に測ってもらう時は、緊張のために測定値が高くなってしまうようです。これでは、自分の血圧を正しく知ることができません。そこで、1回きりの測定による誤りをできる限り防ぎ、正しい測定値を求めるためには、本人による継続的な測定が、たいへん重要になるわけです。測定のコツは、5分程度安静にしてから毎日同じ時間に正しい姿勢で測定することです。また、日常の血圧変動を知るには定期的に起床時、食事前や就寝前など1日のうち何回か測定することです。

ご自分の血圧測定値の判断は医師にご相談ください。

I H B（不規則脈波）マークとは

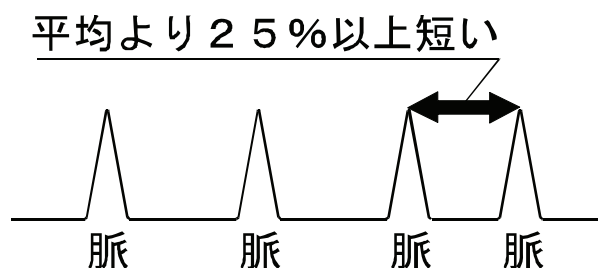
脈とは

心臓のポンプ作用によって押し出される血液の拍動が血管に伝わって感じられるのが「脈」です。

この脈は、心臓の上の方にある「洞結節」というところで作られた電気刺激が、心臓内の伝導路を通して心臓全体に伝わり、心臓の筋肉が収縮する作用により血液が送り出されることで発生しています。

I H B (Irregular Heart Beat:不規則脈波)とは

I H B (不規則脈波)とは脈間隔の「ゆらぎ」を意味しています。測定中の脈間隔のうち、平均の脈間隔から $\pm 25\%$ 以上差のある脈をI H Bとよんでいます。



脈間隔の「ゆらぎ」は、生理的な要因で起こるものから、心臓や、そのほかの疾患によるものまで、様々な原因で起こります。

一般的に脈間隔がゆらぐ生理的要因
運動、体温上昇、加齢、体質、感情変化など

どんな時I H Bマークは点灯するか

I H Bマークが点灯するのは次の2つの場合があります。

測定中の脈間隔に、平均の脈間隔から $\pm 25\%$ 以上差のある脈があった場合。

血圧測定中に腕や血圧計を動かした場合。

不規則脈波は不整脈？

脈間隔のゆらぎ原因の一つ「不整脈」は、脈を作り出す電気系統に異常がある場合に起こる病気とされています。また、高血圧の人や、肺、甲状腺などに異常がある場合にも不整脈は出やすいとされます。

I H Bマークが点灯しても不整脈かどうかは、医師による診断がないとわかりません。



何度測定してもI H Bマークが表示される場合は、医師にご相談ください。

修理、サービスを依頼する前に

エラー表示がでたときは・・・

表示マーク	原因	内容・対処のしかた
<i>Err</i>	測定中に腕や体を動かした。	腕や体を動かさないようにして、もう一度測定してください。 (11 ページ参照)
<i>Err</i> <i>CUF</i>	カフが正しく巻かれていない。	カフを正しく巻き直してもう一度測定してください。 (10 ページ参照)
	エアプラグが本体にしっかり差し込まれていない。	エアプラグを本体にしっかり差し込んでください。
脈拍数表示部 <i>Err</i>	脈拍が正確に測定できない。	カフを正しく巻き直してもう一度測定してください。 (10 ページ参照)

故障かな？と思ったら・・・

こんなとき	ここを確認	対処のしかた
開始／終了ボタンを押しても何も表示しない。	電池が消耗していませんか？	乾電池を4個とも新しいものと交換してください。(9ページ参照)
	乾電池の向きは合っていますか？	乾電池を⊕ ⊖ 表示に合わせて入れ直してください。(9ページ参照)
圧力が上がらない。	 マークが点滅していませんか？ 電池が完全に消耗すると、  マークは表示されません。	乾電池を4個とも新しいものと交換してください。(9ページ参照)
	エアプラグが本体にしっかり差し込まれていますか？	エアプラグを本体にしっかり差し込んでください。
測定できない。 または測定値が異常に低い。 (または高い)	カフを正しく巻いていますか？	カフを正しく巻き直してください。(10ページ参照)
	測定中、安静にしていたか？	測定中は、話したり動いたりせず、安静にしてください。(5ページ参照)
	カフの高さは正しいですか？	正しい姿勢で座り、カフと心臓の高さを同じにしてください。(11ページ参照)
	—————	不整脈の方や脈の弱い方で測定できない場合があります。
測定のたびにIHB(不規則脈波)マークが表示される。	測定中、安静にしていたか？	腕や体を動かさないようにして、もう一度測定してください。(5ページ参照) 何度測定しても表示される場合は、医師にご相談ください。(20ページ参照)
そのほかの現象	病院での測定値と異なる。	4、5ページ「血压測定のまえに」を参照してください。
	—————	乾電池を外して正しく入れ直し、最初から測定をやり直してください。
ACアダプタのプラグを差し込んでも何も表示しない。	専用のACアダプタですか？	専用のACアダプタをご使用ください。
	ACアダプタプラグは正しく差し込まれていますか？	ACアダプタプラグを差し直してください。(17ページ参照)
	ACアダプタはコンセントに正しく差し込まれていますか？	コンセントに正しく差し込んでください。

表示された血压値に関しては、医師にご相談ください。

仕 様

品名	エー・アンド・デイ デジタル血圧計 UA-772V6
型名	UA-772E
測定方式	オシロメトリック方式
測定範囲	圧力 0～280 mmHg 脈拍 40～200拍/分
精度	圧力 ±3 mmHg 脈拍数 読み取り数値の±5%
表示	最高血圧、最低血圧、脈拍数の3桁同時表示 断続表示間隔 1mmHg
機能	圧力・バー表示、血圧レベル表示、 不規則脈波検出 (IHB)、メモリ30回
加圧	自動加圧方式
減圧	定降圧自動排気弁方式
排気	電磁コントロール弁による自動急速排気方式
電撃保護	内部電源機器B形 クラスII B形 (ACアダプタ使用時)
電源	マンガン乾電池単3形4個 (DC6V) AC100V (ACアダプタ使用時)
電池寿命	マンガン乾電池使用時 約300回 (室温23℃、180 mmHg 加圧の場合)
外形寸法	幅147 × 高さ64 × 奥行き110 mm
本体質量	約300g (電池除く)
使用温湿度	+10℃ ～ +40℃、30～85%RH
保存温湿度	-20℃ ～ +60℃、10～95%RH

類別	機械器具18血圧検査又は脈波検査用器具
一般的名称	自動電子血圧計
医療機器分類	管理医療機器
認証番号	219AHBZX00016000
製造販売業者	株式会社エー・アンド・デイ 住所：〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243 電話：0120-514-016

EMC適合 本製品は EMC規格 IEC60601-1-2:2001に適合しています。

本製品は JIS規格 JIS T 1115:2005に適合しています。

保証規定

次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

- 1 誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷。
 - 2 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
 - 3 不適切な修理改造および分解、その他のお手入れによる故障または損傷。
 - 4 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
 - 5 保証書のご提示がない場合。
 - 6 保証書にお買い上げ年月日、保証期間、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 7 ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
- 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
本保証書は日本国内においてのみ有効です。

お買い上げ店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

製品に関するお問い合わせはお客様相談センターへ

受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

0120-514-016

〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243 株式会社エー・アンド・デイ FE課

本社 〒170-0013

東京都豊島区東池袋3-23-14 (ダイハツ・ニッセイ池袋ビル5F)

販売店様へのお願い: 保証期間などの記載事項を必ずお確かめください。